

小袋谷の中の大船地域

小袋谷町内会の地域の中にある大船3丁目や4丁目の会員の中には、大船なになぜ小袋谷町内会なのか疑問を持っている方がいるそうです。

昔は小坂小学校の辺りから大船消防署のそばのセブンイレブンの先まで、梅田川が大船と小袋谷の境でした。しかし、鎌倉市が昭和四二年の住居表示の変更に於いて昭和四十年前後に整備した小袋谷新道を大船と小袋谷の境にした為、梅田川と小袋谷新道に挟まれた地域は、小袋谷から大船3丁目と4丁目に変わりました。でも、町内会は戦前の昭和十三年頃に創られたそうですが、隣の町内会との境は昔のまま梅田川なので、大船3丁目も4丁目も同じ小袋谷の町内なのです。

梅田川は現在、大船中学校と栄町住宅地の辺りでグイと川筋が曲げられて、そこだけ新道に近づけられています。しかし、明治や大正の頃の地図では川筋がまっすぐ描かれています。推測ですが、戦前海軍の施設の用地として離山を崩して埋立てられた時に軍部が川筋を変えたのではないだろうか。その痕跡が法務局の公図にあります。大船中学校敷地と栄町の昔の県営住宅敷地の南から四分の一の所で大船と小袋谷の地番の境を見ることが出来るからです。